



日常的場所

ファミレス・コンビニの風景



February - March 2026

こんな本



読んでみて

No. 117



目次

日常的場所 1

Book design の世界 vol.47 10

ちょこちょこ日記 #57 12

日常的場所

ファミレス・コンビニの風景

今回は、本を通じて「日常的場所」へのご案内
します。

ファミレスやコンビニという身近な場所は、本
の中でどのように描かれているのでしょうか。
普段目にしていない風景も、異なる視点から眺め
ることで、新しい発見があるかもしれません。

『ロイヤルホストで夜まで語りたい』

朝日新聞出版 編



ファミレス「ロイヤルホスト」を愛する豪華執筆陣17名によるエッセイアンソロジーです。特別な雰囲気やメニューの魅力が伝わってくる愛にあふれた一冊です。さまざまな視点で綴られたエッセイを読んでいると、自分にとって大切な場所のことを豊かな言葉で語ってみたいくなります。

- 出版社／朝日新聞出版
- 出版年／2025年
- 請求記号／673.97||A 82



『日本ご当地チェーン大全』

日本懐かし大全シリーズ編集部 編



ご当地ファミレスなど全国各地の飲食チェーン店を紹介する一冊です。地元の人々に長年愛されている個性豊かなメニューを眺めることで、旅気分を味わいながら親しみや懐かしさを感じられるでしょう。あなたの知っているお店や気になるお店はありますか？

- 出版社／辰巳出版
- 出版年／2024年
- 請求記号／673.97||H 72



『天使はここに』

朝比奈あすか 著



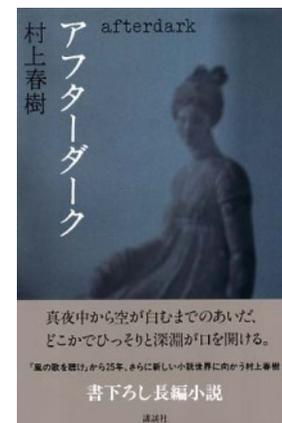
ファミレス「Angel's Dining」の契約社員として働く松村真由子は、忙しい毎日の中でもいつも前向き。常連客やスタッフとの交流や、日々起こる事件を通して成長する真由子の姿を描いた物語です。

- 出版社／朝日新聞出版
- 出版年／2015年
- 請求記号／913.6||A 82



『アフターダーク』

村上春樹 著



もうすぐ深夜0時を迎える都会のファミレス。窓際の席で熱心に本を読んでいる一人の女性。真夜中から夜明けにかけての出来事を全体を俯瞰する視点から漂うように淡々と描いた物語です。

- 出版社／講談社
- 出版年／2004年
- 請求記号／913.6||Mu 63



『コンビニ人間』

村田沙耶香 著



コンビニのアルバイト歴18年目の古倉恵子は、コンビニにどっぷり浸かった生活を送っています。日常と深く結びついているコンビニから、普通とは何かを見つめる作品です。第155回芥川賞(2016年上半期)受賞作。

- 出版社／文藝春秋
- 出版年／2016年
- 請求記号／913.6||Mu 63



『コンビニ兄弟』

テンダネス門司港こがね村店』

町田そのこ 著



物語の舞台は、九州のローカルコンビニ「テンダネス」門司港こがね村店です。魔性の店長・志波三彦をはじめとする個性豊かな登場人物たちが支え合う姿に、前向きな気持ちになれるはずです。心温まるお仕事小説です。

- 出版社／新潮社
- 出版年／2020年
- 請求記号／913.6||Ma 16



『コンビニたそがれ堂』

村山早紀 著



駅前商店街のはずれ、赤い鳥居が並んでいるあたりに、夕暮れになると現れる不思議なコンビニ「たそがれ堂」。たどり着けるのは、大事な探し物がある人だけ。やさしく包み込んでくれるような物語です。

- 出版社／ポプラ社
- 出版年／2016年
- 請求記号／913.6||Mu 62



電子書籍

『家政婦makoの コンビニ裏切り飯』

mako 著



コンビニ食材を使って1～5分で完成する驚きのアイデアレシピ集です。コンビニで手に入るおそうざいや缶詰、カップ麺、カット食材を使って、手軽においしいごはんを作ってみませんか？

※こちらは電子書籍です。電子書籍は、図書館ホームページでマイページへログインすると使えます。(学内者限定)

くわしくは、電子書籍ページをご確認ください。



- 出版社／山と溪谷社
- 出版年／2021年



Book design

の世界

vol.47

藤田 康平さん

(Barber)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第47回目は、藤田康平さんです。

今回ご紹介する藤田康平さんは、デザイン事務所勤務等を経て、2009年にデザイン事務所「Barber」を設立されました。



ブックデザイン：藤田康平 (Barber)

最初にご紹介する『部屋で植物を育てたいの ですが。』

(花福こざる著／家の光協会／2025年／627.85||H 27) は、観葉植物など部屋で育てられる植物の育て方をマンガで楽しく学べる園芸書です。タイトルがマンガのセリフとして表現されています。マンガのゆるい雰囲気を活かして園芸への親しみを感じさせるデザインです。本書の魅力が一目で伝わってきます。



ブックデザイン：藤田康平 (Barber)
イラスト：落合 恵

『やけに植物に詳しい僕の街のスキマ植物図鑑』

(瀬尾一樹著／大和書房／2020年／470||Se 76) は、身近だからこそ見逃してしまいがちな道端の植物の魅力を紹介する一冊です。カバーには、白い壁のスキマから生えている植物の写真が使われ、思わぬ場所でスキマ植物を発見する喜びが感じられ、すぐにでもスキマ植物を探したくなります。スキマ植物の面白さや魅力を伝えるデザインです。



装丁：藤田康平 (Barber)

『そのまま使える建築英語表現』(山崎一也著／学芸出版社／2016年／520.7||Y 48) は、建築の現場やプレゼンテーションなどの場面で正確に伝えるための英語表現テキストです。シンプルなデザインをよく見てみると、図形の寸法が記載されており、建築図面を思わせます。一工夫が効いているスタイリッシュなデザインです。

『こうして私は料理が得意になってしまった』

(有賀薫著／大和書房／2021年／596.04||A 71) は、台所の知恵やごはん作りのヒントを綴った料理エッセイ集です。カバー一面に描かれている装画はイラストレーターの嶽まいこさんによるもので、食材や料理と共に著者の姿も描かれていて遊び心が感じられません。料理の楽しさが伝わる装丁となっています。



装丁：藤田康平 (Barber)
カバー装画：嶽まいこ



撮影：寺澤太郎
デザイン：藤田康平 (Barber)
スタイリング：中里真理子

最後の一冊『へたおやつ 小麦粉を使わない白崎茶会のはじめてレシピ』

(白崎裕子著／マガジンハウス／2017年／596.6||Sh 85) は、オーガニック料理教室「白崎茶会」の入門編おやつレシピです。本書では「『へた』はえらいのです」と「へた」をいい意味でとらえていて、表紙に書かれた「へたおやつ」の文字が親しみを持って語りかけてくるようです。装丁からも、自分でお菓子を作ることへの豊かな気持ちが伝わってきます。

藤田康平さんの装丁は、デザインの中の工夫が隠し味のように効いていて、眺めても開いても読んでも何度でも味わえる本の楽しさを演出しています。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考：Barberホームページ <https://www.barber-design.com/>

ちょこちょこ日記 #57 「新しいおいしさ」

S N S で話題になっていた、料理家・長谷川あかりさんレシピの「酒蒸しハンバーグ」を作ってみました。「酒蒸しハンバーグ」は、手でこねない・玉ねぎのみじん切り不要…など、材料も工程もシンプルなのが特徴です。いつもと違う工程にドキドキしながら作ってみると、知っているハンバーグとは一味違う新しいおいしさに出会うことができました。

「酒蒸しハンバーグ」のレシピは
こちらの本に掲載されています。

『つくりたくなる日々レシピ』

(長谷川あかり著／扶桑社／2023年／596頁H 36)



ほかにも、この本に載っている「昆布バターポトフ」や「鮭のムニエル ガーリックバターソース」などを作ってみました。どれもとてもおいしくできました。

どんな味になるかワクワクしながら楽しく作って、食べるとほっとするおいしさに出会えるはずです。ぜひ作ってみてください。

次号 No.118は、2026年4月発行予定です。

こんな本読んでみて No.117

2026年2月1日 発行

編集・発行 津市立三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>